

コンサート・グランドピアノと625席の風のホールを貸し切り!

三鷹市民限定

風のホールでピアノを弾こう! スタインウェイ編

大変好評をいただいている風のホールでピアノを弾こう!

今回は三鷹市民限定枠*でのスタインウェイ編を実施します。ご応募お待ちしております!

*市外の方でも申し込みいただける「スタインウェイ編」は、次号の MARCL+にてご案内予定です。

5月20日(水)・21日(木)



申込方法 *申込は、お1名様1回のみ

申込フォームからお申し込みください。▶

申込締切 4月5日(日) *申込多数の場合は抽選

利用時間 *利用時間等、詳細は入力フォームからご確認ください。

参加費 1時間 2,500円 *追加1人につき500円(追加は5人まで)

対象:三鷹市民(在勤・在学含む)

*ステージ上で演奏される方全員が対象となります。当日身分証明書をご持参ください。

*付き添いの方については、この限りではありません。

チケットのお求め方法

発売初日は10:00から電話とインターネットで受付し、窓口販売は翌日からとなります。

電話予約 三鷹市芸術文化センター Tel: 0422-47-5122 (受付時間 10:00~19:00)

窓口販売 販売場所: 芸術文化センター / 三鷹市公会堂(さんさん館) / 美術ギャラリー 受付時間 10:00~19:00
休館日 月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館) *美術ギャラリー臨時休館日 4/2(木)、4/9(木)、5/19(火)~29(金)インターネット予約(要事前登録) <https://mitaka-art.jp/ticket>

ご予約後、チケット代金の郵便振込ができます

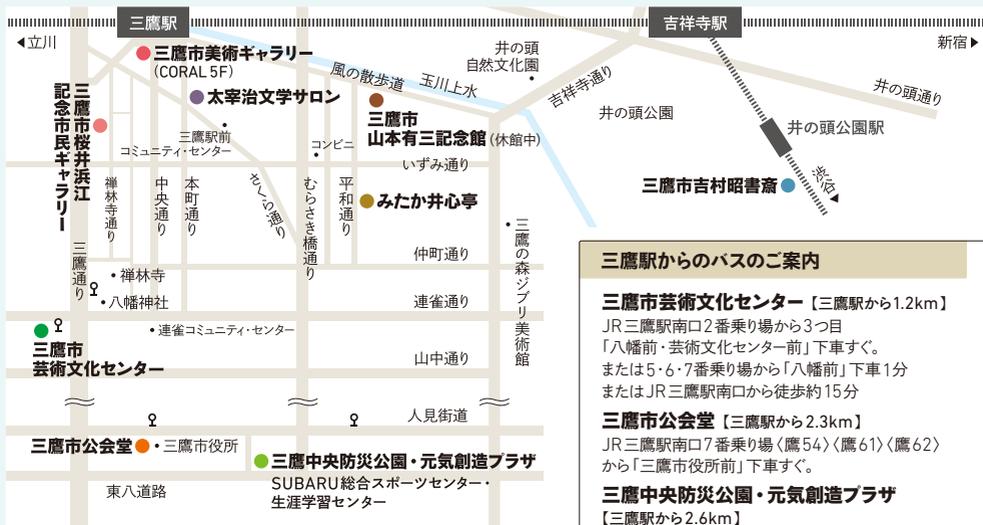
口座番号〈ゆうちょ銀行〉00190-5-569156 加入者名 三鷹市芸術文化センター

*備え付けの「払込取扱票」をご利用の上、通信欄に〈予約番号〉をご記入ください。*振込手数料はおお客様のご負担になります。

*普通郵便の場合110円、簡易書留ご希望の場合460円を加算してお振り込みください。*お振り込み確認後、1週間以内にチケットを発送します。

チケットパートナーショップの終了について

2026年3月31日をもって本企画を終了することとなりました。詳しくはお知らせページをご覧ください。▶



三鷹駅からのバスのご案内

三鷹市芸術文化センター【三鷹駅から1.2km】

JR三鷹駅南口2番乗り場から3つ目「八幡前・芸術文化センター前」下車すぐ。
または5・6・7番乗り場から「八幡前」下車1分
またはJR三鷹駅南口から徒歩約15分

三鷹市公会堂【三鷹駅から2.3km】

JR三鷹駅南口7番乗り場〈鷹54〉〈鷹61〉〈鷹62〉から「三鷹市役所前」下車すぐ。

三鷹中央防災公園・元気創造プラザ

【三鷹駅から2.6km】
JR三鷹駅南口7番乗り場〈鷹54〉〈鷹61〉〈鷹62〉から「三鷹市役所前」または「三鷹農協前」下車徒歩約5分

*JR三鷹駅南口9番乗り場から、みたかシティバス(北野ルート)もご利用いただけます。

発行 公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団

〒181-0012 三鷹市上連雀6-12-14 三鷹市芸術文化センター内

<https://mitaka-sportsandculture.or.jp/>

2026.3.13 designed by Kentaro Kato, Fumiki Tomioka

March 2026

公益財団法人
三鷹市スポーツと文化財団
情報誌【マークルプラス】

MARCL+188

音楽・演劇・美術・文芸・スポーツ・生涯学習

Pick up

中川優芽花 P1
ジャン・ロンドー マスタークラス P2
iaku P5

Music

パオロ・パンドルフォ & アメリ・シュマン P4
風のホールでピアノを弾こう! P27

Theater

ばぶりか P9
CINEMA SPECIAL
生誕百年記念 今村昌平監督作品特集 P11
春風亭一之輔 P13
桃月庵白酒・三遊亭兼好 P14
柳家さん喬 / 桂宮治 P15
古今亭菊之丞・古今亭文菊 P16

Literature

企画展 戯曲から小説へ
—越境する有三文学を読む— P17
おはなし会 P18
春の朗読コンサート P18
太宰治作品朗読会 P19

Sports

大人のバレーボール教室 P20
実業団バレーボール選抜優勝大会観戦 P20

Lifelong Learning

令和8年度 三鷹市民大学学習生募集! P21
花壇サポーター養成講座 P23
市民講師としての
話し方やコミュニケーションを学ぶ P24
未来の自分へ投資!
~今すぐ始める高血圧予防のコツ~ P24

Workshop

夜のお茶会 / 茶道体験教室 P19



©石田昌雄

ドリーマーズ・サーカス

9月5日(土) 16:00開演

三鷹市芸術文化センター 風のホール

Music P3

これからも、ともに
30th Anniversary

公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団

当財団は30周年を迎えました



公演レポート

中川優芽花 ピアノ・リサイタル

撮影：高坂はる香

2025年12月6日、三鷹市芸術文化センター風のホールで開催された「中川優芽花 ピアノ・リサイタル」は、演奏の充実ぶりはもちろん、彼女の人柄や音楽への真摯な向き合い方が自然に伝わる公演となりました。開演前から客席には期待感が満ち、若いピアニストの現在の姿を見届けようとする来場者の思いが、会場全体に穏やかな高揚感をもたらしていました。

中川さんは、昨年(2025年)に開催されたエリザベート王妃国際音楽コンクールとショパン国際ピアノコンクールという、世界最高峰と称される二つの国際コンクールに同時にエントリー。前者では一次予選を通過してセミファイナルに進出、後者では予備予選を通過して本大会へ進出するなど、その確かな実力と音楽性を国際舞台で示しました。コンクールでの演奏はインターネットを通じて全世界でリアルタイム視聴され、高い注目を集めました。さらに国内各地での演奏活動も重ね、将来を期待される若手ピアニストとして、国内外で確かな存在感を放っています。

当日のプログラムでは、モーツァルトの初期と晩年のソナタをそれぞれ2曲ずつ取り上げ、ショパンのマズルカ4曲、夜想曲第17番、そしてポロネーズ第6番「英雄」が続きました。アンコールではシューマンのトロイメライとラフマニノフの前奏曲ト短調Op.23-5が演奏され、会場に豊かな余韻を残しました。

演奏を通して印象的だったのは、音を通じて語りかけるような表現です。歌うことを起点に音を選ぶ考え方は実演でも明確に感じられ、一音一音に丁寧な意思と方向性が込められていました。幅広い強弱や音色の変化を持ちながらも、表現が過度に誇張されることはなく、聴き手の心に静かに寄り添う自然さが印象に残りました。

舞台上での落ち着いたたたずまいからは、音楽に向き合う誠実な姿勢も伝わりました。プログラムが進むにつれて演奏者と客席の距離も縮まり、アンコールを含む終演時には、大きな拍手とともに会場全体がひとつの空気を共有する、温かな一体感に包まれました。

終演後には、音楽から情景や物語を思い描いたという感想や、音の向こう側にある心情に触れたという声が多く寄せられました。高い演奏技術に加え、その先にある想いが聴き手に届いていたことは、本公演が多くの方の心に残る時間となったことを物語っています。

当財団では、こうした反響を受け、中川優芽花さんのリサイタル第二弾を2027年1月に予定しています。引き続きご注目ください。



撮影：高坂はる香

関連企画

いよいよ開催迫る!

受講生決定! ジャン・ロンドーによる チェンバロ・ マスタークラス

© Mathias Benguigui

来たる2026年3月27日、ジャン・ロンドーのチェンバロ・マスタークラスが、前回に引き続き日本国内では三鷹でのみ開催されます。受講生は、書類審査を経て選ばれた、チェンバロを専門的に学んでいる中高生から大学院生、研究生までの方々です。演奏される曲目にはフランスとドイツのバロック音楽の名曲が並びます。特に、ロンドーが2024年に集中して録音したルイ・クーブランの作品群を選んだ受講生もいっしょに、まさにタイムリーな選曲となっています。そのほかにもフランソワ・クーブラン(「大クーブラン」と称される)やJ.S.バッハの作品も演奏される予定です。

ロンドーは演奏技術にとどまらず、音楽に対する

哲学的・思索的なアプローチを重視します。彼は音楽を通じて人生や人間の内面を深く掘り下げることを大切にしており、演奏者に対してもそのような視点を持つように導いています。特に、ルイ・クーブランの「プレリュード・ノン・ムジュレ」に象徴されるような、形式に縛られない自由で流動的な音楽表現が求められる作品においては、音楽的な直感や感性を重んじる哲学的な指導が期待されます。

ジャン・ロンドーの深い音楽的洞察と、哲学的な指導を通じて、バロック音楽の本質に触れる貴重な機会です。ぜひ、この特別なマスタークラスにご注目ください。なお、聴講には事前のお申込みが必要です。

(要予約：チケット制)

受講生および演奏予定曲目(演奏順)

- 田光諒介(関東学院中学校 3年生) ♪ フランソワ・クーブラン:「クラヴサン奏法」より
- 飯田 円(京都市立京都堀川音楽高等学校チェンバロ専攻 1年生)
♪ フランソワ・クーブラン:クラヴサン曲集 第4巻 第21組曲より
- 中山結菜(桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻、チェンバロ副専攻 4年生) ♪ ルイ・クーブラン:組曲 二長調より
- 今村恵羽(東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程 1年生) ♪ ルイ・クーブラン:組曲 へ長調より
- 立花美咲子(桐朋学園大学音楽学部研究生チェンバロ専攻 2年生)
♪ ヨハン・ゼバスティアン・バッハ:半音階的ファンタジアとフーガ ニ短調 BWV903

*上記の曲目は、受講生が準備している作品になります。レッスンは1人45分程度。ただし曲目は変更の可能性もございますので、あらかじめご承知おきください。

*おおよそのタイムスケジュールは、財団HPをご確認ください。

ジャン・ロンドーによるマスタークラス(英語、フランス語通訳付き)

3月27日(金) 14:00開講(13:30開場) 会場 三鷹市芸術文化センター風のホール

チケット発売中 全席自由 聴講料:一般2,000円/マークル会員1,800円/U-23(23歳以下)1,000円

ドリーマーズ・サーカス

北欧音楽の地平を切り拓く、現代の魔法



ニコライ・ブスク
(ピアノ & アコーディオン)

ルネ・
トンスゴー・
ソレンセン
(ヴァイオリン)

アレ・カー
(シタール、ヴァイオリン、ギター)

9月5日(土) 16:00開演 曲目 当日発表

チケット発売日 会員4月3日(金) / 一般4月7日(火) 託児あり *未就学児は入場できません。

全席指定 会員S席4,500円・A席3,600円 / 一般S席5,000円・A席4,000円

U-23 (23歳以下/A席限定) 3,000円 *U-23の中学生以上の方は、入場の際に身分証明書のご提示をお願いいたします。

北欧デンマークを拠点に活動するドリーマーズ・サーカスが、三鷹で初公演を行います。ヴァイオリン、シタール、アコーディオンという個性豊かな三つの音色が織り成す演奏は、北欧の伝統音楽(トラディショナル・フォーク・ミュージック、民俗音楽)を基盤に、クラシック音楽の精緻な知性を融合させた、シンフォニックで奥行きのあるサウンドが魅力! 耳に届くたび、まるで風景が立ち上がるかのような豊かな音の世界が広がります。

彼らはデンマーク・フォーク・アワードで三冠を達成し、王室から(ライジング・スター賞)を受賞するなど高い評価を獲得。フロントマンのルネは、若くしてコペンハーゲン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターを務め(現在は退団)、世界屈指の優れた音楽家に贈られるレオニー・ソニング音楽賞2025を受賞した、デンマーク弦楽四重奏団の第1ヴァイオリン奏者として、クラシックの第一線でも活躍しています。

シタールとヴァイオリン、ギターを操るアレは、スウェーデン南部スコネ地方の民俗音楽の息遣いを演奏に込め、ライブでは珍しい楽器も披露。ピアノとアコーディオンを担当するニコライは作曲・編曲家としても評価が高く、三人の個性を洗練された流れへとまとめ上げています。

その音楽は多くのクリエイターをも魅了。スタジオジブリの宮崎駿監督や、作曲家・光田康典氏(『クロノクロス』)も愛聴者として知られており、宮崎監督は映画『君たちはどう生きるか』制作中、絵を描きながら彼らの音楽を聴いていたことを明かしています。

公演と併せて開催される関連講座では、音楽の背景に触れることで、演奏をより立体的に味わうことができます。北欧の空気を感じる音の旅を、ぜひ会場で体験してください。

*関連講座の詳細は、ホームページをご覧ください。

パオロ・パンドルフォ & アメリ・シュマン —天上の歓び— ヴィオラ・ダ・ガンバ 200年の黄金の歴史 ～イギリス、フランス、ドイツ音楽史紀行～

9月12日(土) 14:00開演

チケット発売日 会員4月3日(金)
一般4月7日(火)

全席指定 託児あり

会員S席4,500円・A席3,600円
一般S席5,000円・A席4,000円
O-70 (70歳以上/A席限定) 3,600円
U-23 (23歳以下/A席限定) 3,000円

*U-23の中学生以上およびO-70ご利用の方は、入場の際に身分証明書のご提示をお願いいたします。
*未就学児は入場できません。

曲目 ◆イングランド: エリザベス1世からチャールズ1世まで、後期ルネサンス

T. ヒューム: アルメインーガンバの魂 (ほか)

◆ルイ13世からルイ15世にかけての究極の洗練

サント=コロンブ: 悲しみのトンボー〜鐘またはカリヨン

〜カロン(冥界の渡し守)の呼び声〜涙〜エリュシオンの喜び

A. または J.B. フォルクレ (パオロ・パンドルフォ編曲):

3つのヴィオールのための曲集より「アルマンド」「サラバンド」「クランツ」

◆ドイツ: ケーテンからベルリンへ、バロックから古典派へ

J.S. バッハ (パオロ・パンドルフォ編曲): プレリュードとフーガ BWV1011/BWV995

C. シャフラート: 2つのヴィオラ・ダ・ガンバのためのソナタ



アメリ・シュマン
(バス・ド・ヴィオール
[ヴィオラ・ダ・ガンバ]*2)

時を超え、響き合う

パオロ・パンドルフォ
(バス・ド・ヴィオール [ヴィオラ・ダ・ガンバ]*1)
*Susanna Drescher

使用楽器

*1: 17世紀ニコラ・ベルトラン製作のオリジナル楽器
*2: コリジョン製作楽器をモデルとするJ. クラフト製作の複製楽器

イタリアが誇るヴィオラ・ダ・ガンバの鬼才、パオロ・パンドルフォ。大胆さと繊細さを自在に行き交う表現力、自由な即興性と深い歴史的洞察を併せ持つ彼は、現代古楽界を代表する奏者のひとりです。巨匠ジョルディ・サヴァールのもとで研鑽を積みながら独自の演奏世界を築き、名門レーベルから数々の録音を発表。ディアバゾン・ドール賞や『グラモフォン』誌年間最優秀録音賞をはじめ、国際的に高い評価を受けています。

透明感のある音色と緻密なアンサンブル感覚で知られるアメリ・シュマンは、長年にわたりパンドルフォの薫陶を受けてきた弟子です。多くの共演を通して培われた二人の演奏は、互いの呼吸を深く理解した対話に満ち、二つのヴィオラ・ダ・ガンバによる豊かな音楽世界を描き出します。人の声を思わせる歌心から、鐘の余韻を想起させる幻想的な響きまで、多彩な表現で聴き手を魅了します。

本公演では、二つのヴィオラ・ダ・ガンバで約3世紀にわたる音楽の変遷が描かれます。エリザベス朝・ジャ

コピアン朝イングランドを代表するトビアス・ヒュームの作品には、宮廷舞踏や仮面劇の気配、時に武骨さすら感じさせる独特の性格が表れています。サント=コロンブの『悲しみのトンボー』では、鐘の音や嘆きの声、冥界への呼びかけから楽園の情景に至るまで、音楽が喚起するイメージの連なりが鮮やかに描き出されます。さらにJ.S. バッハ作品に見られるフランス風序曲の壮麗な様式を通して、ベルリンにおけるヴィオラ・ダ・ガンバ最後の黄金期へと物語は展開していきます。

親密な響きの中に、豊かな音楽史と想像力を呼び覚ますひととき。どうぞご期待ください。

ヴィオラ・ダ・ガンバはどんな楽器?

ヴィオラ・ダ・ガンバは、脚にはさんで演奏する弓奏弦楽器で、16世紀から18世紀にかけてヨーロッパでさかんに用いられました。「ガンバ」はイタリア語で「脚」を意味します。フランス語ではヴィオール(viole)、英語ではヴァイオール(viol)、ドイツ語ではガンベ(Gambe)と呼ばれます。主に人の声の音域に対応したトレブル(高音)、テノール(中音)、バス(低音)の3種類がよく使われており、大きさに関係なく、膝や脚に挟んで構え、弓を下から持って演奏するのが特徴です。



iaku 《インタビュー》

初演から9年を経て、
装いを新たに上演する「肅々と運針」。
脚本の横山拓也さん、演出の上田一軒さんと、
出演の林英世さん、中山義紘さんに
お話を伺いました。

*上田さんと林さんは大阪にいらしたため、
リモートで伺いました。

対話でどんどん見せていき、深いところに到達する作品でありながらも、
基本的には、ユーモアたっぷりの、
軽妙な会話のやりとりを楽しんでもらえる会話劇です。

初演では、横山さんが自ら演出を手掛けられました。今回の再演にあたり、三鷹では2023年の
iaku公演「あたしら葉桜」以来のタグとなる
上田さんに演出をお願いされています。

横山 もともと、2012年の立ち上げ
から17年『ハイツブリが飛ぶのを』
まで、大阪で創作を続け、基本的には
上田一軒さんに演出をお願いして
きたので、僕は一軒さんの元で演出
を学んできたと言えます。一軒さんは
僕の戯曲を僕よりも読解していて、
執筆時には想像もできなかった地点まで、いつも
作品を導いてくれます。初演時は自分で演出して、
一つのターニングポイントになった作品ですが、今回、
一軒さんの演出で新たに立ち上がるのが楽しみで
しかないですね。



横山拓也

再演に当たって、脚本への変更はありますか。

一軒 かなり普遍的で、時代に左右されない台本
ですが、横山くんの台本としては珍しい場面があり
ます。そのあたりを調整してもらいました。

横山 そうですね。iakuを立ち上げて5年ぐらいの
時で、新たなことに挑戦した作品でしたが、一軒
さんの意向を聞いて手を入れました。

一軒さんの、本作のイメージや、演出のプランを
お聞かせください。

一軒 俳優が持っている身体の真実性、もっと言えば
俳優の人生を借りて、役が自身の人生を問われる
ような形で走っていく、そういう勢いを頼りにしつつ、
奇をてらわず、対話が浮かび上がるような演出を
したいなと、思っています。

林英世さんの、今回のご出演への意気込み等を、
お聞かせください。

英世 初演では若い俳優さんが
演じていた役を、今回、役と同年
代の私が演じるので、そこを活か
したいと思います。若い時は生き
方について一生懸命考えたけど、
今はどうやって死んでいくかを
考えているので、この役から、いろいろと教えてもら
えるんじゃないか、という気がしています。なるべく
気負わず頑張らない感じでやりたいですね。



林英世

中山さんは、いかがでしょうか。

中山 10年ほど前にiakuとは別の企画でしたが、
横山さんの「closet」という作品で英世さんとご一緒
しました。その本公演に、スケジュールの都合で

出られず、客席から、自分のやっていた役が生き
生きと演じられる様子を見て、すごい悔しくて……。
終演後、英世さんに挨拶に行ったら、「なんで出な
かったの!」と言っていただけなんです。それ以来、
横山さんの作品を毎回拝見してきましたが、今回、
いよいよ念願の出演ということとなり、すごい気負っ
ています。英世さんは気負わずとおっしゃっていました
ので、僕も稽古初日にがちがちにならないように、
役をちゃんと咀嚼して、会話を
大事にしたいな、と思っています。



中山義紘

中山さんの役柄や作品全体の
イメージはどうでしょうか。

中山 僕も初演を拝見してて、
優しい世界というか、優しい布で
包まれながら、チクチク、針で刺されるみたいな、
現実を突きつけられているような印象を感じていま
した。命の選択のように、家族であってもちゃんと
話さないと分かり得ないことは、誰にでもきつとあると
思います。その空気感を、僕の奥さん役の佐々木
ヤス子さんと大事にしながら稽古をしたいです。

最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

英世 今回の作品は、私にとって身近な問題を含ん
でいます。私は、結婚も子育てもしていません。それを
自発的に選択したのかどうか、実はわかりません。でも
今、この地点に立っています。日々を暮らしていきなが
ら、私たちは生きて、いつかこの自分をしまわなきゃ
いけない。結論は出ないだろうけれど、そういうこと
について考えてみるのがみんなできればいいなと思
います。虚構だけど虚構じゃない何か、ちゃんと
真ん中に見えるようにできたらいいなと思います。

中山 この三鷹の劇場から出て駅までの帰り道、その
一本道を歩くのが僕は好きなんです、お客様も、
観劇後、身近にいる人を考えながらお家に帰って
いただける作品だと思います。ぜひ劇場に見に来て
もらえれば嬉しいです。



iaku

インタビュー

演劇

6 芸術文化センター 星のホール

一軒 この作品は、入り口は日常的なところから
入って、少しずつ対話が深まっていきます。対話って、
自分が何を正しいとか美しいと思っているのか、アイ
デンティティを問われるような体験なんですよ。ね。
もしかしたら、自分の考えが動くかもしれないという



上田一軒

怖さや、あるいは良くなるかもしれ
ないということも含むものだと
思います。作中でも、登場人物
6人全員が自身を問われるような、
自分の生き方を問われるような
対話を繰り返します。そういう
僕たちが生きていく中で避けが

たい営みを、俳優の体を通して舞台上に出現させる。
そして、その空間に居合わせることで、観客の皆さん
に自分ごとのようにその葛藤を感じてもらい、そういう
舞台になればと思います。人間を見る感性が研ぎ
澄まされるような、そういう作品にしたいなと思っ
ています。

横山 この作品は、すごくユーモアもたっぷりあるし、
軽妙な会話のやりとりそのものも楽しんでもらえる
作品だと思っています。対話でどんどん見せていく、
深いところに到達する作品でもあるんですけど、基本
的には、エンターテインメントの会話劇という風に
捉えてもらっていいんじゃないかなと。それを新演出、
新しいキャストで、僕自身が今一番楽しみにして
いるところがあります。三鷹をはじめ、大阪と新潟と
三都市に行くので、春先までみんな元気でやって
いきたいなと思っています。

2026年1月 三鷹市芸術文化センターにて

iaku『肅々と運針』 作 横山拓也 演出 上田一軒
4月9日(木)~19日(日) 全14公演
チケット好評発売中
公演詳細は、次のページ →

撮影：井手勇貴

iaku

粛々と運針

チクチクと針が進む。

無関係な二つの家庭を縫い合わせてみる。

作 横山拓也

演出 上田一軒

出演

佐々木ヤス子、中山義紘、
花戸祐介、鈴鹿通儀、
鄭梨花、林英世

若い夫婦は妊娠をめぐり、成人した兄弟は入院中の母のある決意をめぐり、建前と本音をぶつけあう。いつか分かり合えたふたりが、お互いに理解を得ようと言葉を尽くす姿を静かに見つめる2つの目線。理解することの難しさとともに、理解しようとするその素晴らしさを描いた、iaku名作の再演です。

iaku『粛々と運針』



作
横山拓也



演出
上田一軒

2017年、新宿の小さなギャラリーで誕生した本作は、すぐに好評を得て、翌年には再演 & 全国5ヶ所ツアーを実施。2022年にはPARCO PRODUCEとしてウォーリー木下氏の演出で上演された。同年、本作を原作に河出書房新社より小説「わがままな選択」も出版され、『粛々と運針』は、横山拓也としてもiakuとしても、転換点となった。初演から9年、演出家としてiakuの黎明期を支え、横山拓也代表作である『エダニク』初演を立ち上げた上田一軒氏の演出によって、新たな手つきで上演します。

4月9日(木)～19日(日) 全14公演

	4/9 (木)	10 (金)	11 (土)	12 (日)	13 (月)	14 (火)	15 (水)	16 (木)	17 (金)	18 (土)	19 (日)
13:00			●【託】	●						●◎◎	●
14:00					休演日	●	●	●◎	●		
18:00			●【託】							●◎	
19:30	★	★							●		

★…早期観劇割引 ◎…視覚に障がいのある方への鑑賞サポート実施回
【託】…託児サービス ◎…聴覚に障がいのある方への鑑賞サポート実施回

*鑑賞サポートのお申込・お問合せは、劇団 iaku 担当窓口
Tel:080-9759-2383 / E-mail:contact@iaku.jp

全席指定 託児あり *未就学児は入場できません。

チケット
発売中

【会員】前売4,000円・当日4,500円

【一般】前売4,500円・当日5,000円

【学生】前売・当日とも2,000円(当日学生証拝見)

【高校生以下】前売・当日とも1,000円(当日学生証拝見)

★早期観劇割引は、会員・一般のみ500円引き

*「学生」および「高校生以下」は、いずれも公演日時点



佐々木ヤス子



中山義紘



花戸祐介



鈴鹿通儀



鄭梨花



林英世

【劇団プロフィール】

劇作家・横山拓也による大阪発の演劇ユニット。緻密な会話が螺旋階段を上がるようにじっくりと層を重ね、いつの間にか登場人物たちの葛藤に立ち会っているような感覚に陥る対話中心の劇を発表している。間口の広いエンタテインメントを意識しながら、大人の鑑賞に耐え得る作品づくり、繰り返しの上演が望まれる作品づくりを心掛け活動中。2024年に上演した「流れんな」の作・演出と PARCO PRODUCE「ワタシたちはモノガタリ」の作、横山拓也が第59回紀伊國屋演劇賞(個人賞)受賞。

代表作:「エダニク」(第15回日本劇作家協会新人戯曲賞)、「人の気も知らないで」(第1回せんだい短編戯曲賞大賞)、「逢いにいくの、雨だけど」(第26回OMS戯曲賞佳作)、「あつい胸さわぎ」(2023年1月まつむらしんご監督によって映画化)、「モモンパのくくり罫」(第27回鶴屋南北戯曲賞)

HP: <https://www.iaku.jp/>
X(旧Twitter): @iaku_info

今回の公演に寄せて、横山拓也さんからのメッセージ

長く演劇をやってきた中で「アレが書けて良かったなあ」と、しみじみ思う作品が2つあって、ひとつは『エダニク』(2009)、もうひとつが『粛々と運針』(2017)です。前者は「まだ演劇を続けてもいいよ」と救ってくれた作品で、後者は「演劇はもっと自由なんだよ」と視野を広げてくれた作品です。iakuが主に大阪で製作していた2016年まで、演出をお願いしていた上田一軒という演出家があります。『エダニク』は一軒さんが、『粛々と運針』は横山がそれぞれ初演の演出を担当しました。演出の師と仰ぐ一軒さんに『粛々と運針』を委ねる機会を得たことを、僕が一番楽しみにしています。

娘を大切に思いすぎてしまう母と、息苦しさを覚えている娘。
その不釣り合いの時間と日々が、遠景になるまでを描く。

『どっか行け! クソたいがい我が人生』
2022年11月 / こまばアゴラ劇場
撮影: 堀山俊紀

ぱぷりか

『どっか行け! クソたいがい我が人生』

出演 渡辺真起子、松下太亮、仲 美海 (劇団4ドル50セント)、松尾 潤、岡本 唯 (ぱぷりか)

岸田國士戯曲賞受賞後、初の新作公演として2022年に上演された『どっか行け! クソたいがい我が人生』が、待望の再演。
たいがい人生を前に、楽になりたい、自由になりたい、けれどそれができない。そんな自分自身に「どっか行け!」と言いたくなることもある。
広島を舞台に、ある殺人事件をきっかけとして、赤木かずみは自分にとって最も大切な娘へ過剰に関わりたくしてしまう。そこから静かに歪み、崩れていく人間関係の日常を描く。
笑えて、苦しくて、他人事ではいられない。それでも人は、誰かと話し、笑い、気づきながら生きていく。

5月30日(土)～6月7日(日) 全11公演

チケット発売日 会員4月8日(水) / 一般4月9日(木)

	5/30 (土)	31 (日)	6/1 (月)	2 (火)	3 (水)	4 (木)	5 (金)	6 (土)	7 (日)
14:00	★【託】	★	休 演 日					●	●
15:00				●	●	●	●		
18:30	★【託】							●	
19:30					●				

★…早期観劇割引 【託】…託児あり

全席自由 (日時指定・整理番号付き)

託児あり *未就学児は入場できません。

『どっか行け! クソたいがい我が人生』
2022年11月 / こまばアゴラ劇場
撮影: 堀山俊紀

【会員】前売4,000円・当日4,500円

【一般】前売4,500円・当日5,000円

【U-30】前売3,100円・当日3,600円 (当日身分証拝見)

【高校生以下】前売・当日とも1,000円 (当日学生証拝見)

★早期観劇割引は、会員・一般・U-30のみ500円引き

*「U-30」および「高校生以下」は、いずれも公演日時点

『どっか行け! クソたいがい我が人生』
2022年11月 / こまばアゴラ劇場
撮影: 堀山俊紀



作・演出
福名理穂
撮影: 矢野瑛彦

今回の公演に寄せて、福名理穂さんからのメッセージ

この作品を書いたとき、私の中には次回作への大きな重圧がありました。それなのに、現実から逃げるように漫画を読んでいる自分の甘さや弱さが、どうしても気持ち悪くて仕方のない日々を過ごしていました。ふと周りに目を向けると、仕事のストレスから依存に傾く人がいたり、依存症でなくても、人は誰も何かを心の拠り所にして生きていることに気づいたんです。そんな人間的な弱さが嫌でたまらない一方で、自分の人間らしさにホッとしたりもしたんです。理解できない行動をする人にも、きっと理由があるのだとも思いました。
初演から時間が経った今も、自分に対する甘さや弱さ、生きる上での息苦しさは私の中に残っています。けれど子を産み、親になった今、もう一度この作品と向き合いたいと思いました。この舞台が、自分や周りの人に少しでも優しくなれるきっかけになれば嬉しいです。

『どっか行け! クソたいがい我が人生』
2022年11月 / こまばアゴラ劇場
撮影: 堀山俊紀

『どっか行け! クソたいがい我が人生』
2022年11月 / こまばアゴラ劇場
撮影: 堀山俊紀

【劇団プロフィール】

2014年旗揚げ。全ての作・演出を福名理穂が務める。日常の会話の奥にある孤独とつながりを描き、『柔らかに揺れる』で岸田國士戯曲賞、日本みどりのゆび舞台芸術賞HOPE賞を受賞。

HP: <https://www.paprika-play.com/>
X (旧Twitter): @pap926



『どっか行け! クソたいがい我が人生』
2022年11月 / こまばアゴラ劇場
撮影: 堀山俊紀

演劇

10
芸術文化センター 星のホール



今村監督「カンヌにて」
写真提供：今村プロ

CINEMA SPECIAL **生誕百年記念**
今村昌平監督作品特集

絶望的な世界を描きながらも、そこにひと粒の希望を探し出し、それもまた私たちの一部であるはずだと、すくい上げて見せる今村昌平。生誕百年を迎える今村昌平監督作品を、今こそご覧ください。



©今村プロ・東映

全席指定 各部 会員450円 / 一般500円 / 学生400円 (当日学生証拝見)

託児あり *未就学児は入場できません。

協力：東映株式会社、株式会社今村プロダクション、松竹株式会社

5月23日(土) 午前の部11:00-13:11 / 午後の部14:00-16:11【完全入替制】

チケット発売日 会員3月19日(木) / 一般3月20日(金)

そうしなければ家族が飢える。しきたりとして残る、限界の判断。
楳山まいり、それは、老いた母親と息子の、定められた別れ——

『楳山節考』

(1983年 / 131分 / カラー / 35mm / 東映)

監督：今村昌平

原作：深沢七郎

出演：緒形拳、坂本スミ子、左とん平、あき竹城、倍賞美津子



©今村プロ・東映

山の奥深くにある小さな集落で、何とかその日その日を暮らしている辰平(緒形)とその家族。69歳になる母のおりん(坂本)は至って元気で、去年妻を亡くしたばかりの辰平にとって、唯一の家事の担い手であり、また心の支えであった。ある日、辰平の元へ隣村から新たな嫁が訪れ、おりんは村のしきたりである「楳山まいり」へ向けて肅々と準備を始める……。集落や家族という限られた人間関係しかない時代、貧しさを生き抜くために築き守られてきた掟の中で、怒り、笑い、つかの間性の喜びに興じ、悲しみ、懸命に生きる人々。掟を信じるしかない息子の問いに、ほほ笑みうなずく母の静かな横顔。本作で、今村監督は、カンヌ国際映画祭の最高賞であるパルム・ドールを受賞した。

『楳山節考』

『黒い雨』

『うなぎ』



©今村プロ・東映

©今村プロダクション/林泉グループ

©1997 Softgarage 松竹ブロードキャスティング ケンメディア

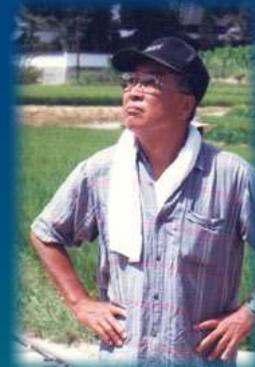
ラインナップ

チケット発売日

上映日	作品名	制作年	分数	チケット発売日	
				会員	一般
5月23日(土)	『楳山節考』	1983	131	3/19(木)	3/20(金)
7月25日(土)	『黒い雨』	1989	123	5/21(木)	5/22(金)
8月29日(土)	『うなぎ』	1997	117	7/23(木)	7/24(金)

今村昌平

1926(大正15)年9月15日東京の生まれ。1951(昭和26)年、松竹大船撮影所に入社。小津安二郎監督の『東京物語』(1953年)等、野村芳太郎監督の『鳩』(1952年)等に助監督としてつく。1954年、日活に移籍し、川島雄三監督のチーフ助監督となるかわら、川島監督『幕末太陽傳』(1957年)、浦山桐郎監督『キューポラのある街』(1962年)の脚本も手がける。昇進し、第一作監督作『盗まれた欲情』(1958年)から『果しなき欲望』(1958年)、『につぼん昆虫記』(1963年)等立て続けに発表。独立し、今村プロダクションで『神々の深き欲望』(1968年)等を撮る。その後、1975年、映画人育成のため横浜放送専門学院(現・日本映画大学)を創立し、校長に就任。『復讐するは我にあり』(1979年)、『ええじゃないか』(1981年)を経て、1983年『楳山節考』でカンヌ国際映画祭の最高賞を受賞。『黒い雨』(1989年)から8年後、1997年に『うなぎ』で2度目のカンヌ国際映画祭最高賞に輝く。2006(平成18)年5月30日死去。



写真提供：今村プロ



撮影：キッチンソル

押しも押されぬ、高座の雄
口跡鮮やか、春風亭一之輔

しゅんぷうてい いちのすけ

春風亭一之輔 独演会

口跡鮮やかでよどみない、
力強い語り口で観客を魅了していく、春風亭一之輔。
他の追従を許さぬ人気と実力の一之輔師匠の落語を、
たっぷりご堪能ください。

5月17日(日) 14:00開演 出演 春風亭一之輔 ほか

全席指定 託児あり *未就学児は入場できません。

会員3,150円 / 一般3,500円 / 高校生以下1,000円

申込フォーム 往復はがき申込

本公演の申込方法

*ご応募は、お1人様1回限りです。*購入希望枚数は2枚までです。

申込フォームまたは往復はがきからお申し込みください。

応募宛先

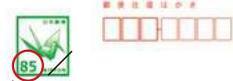
181-0012 三鷹市上連雀6-12-14
三鷹市芸術文化センター
「春風亭一之輔 独演会」チケット係



▲申込フォーム

申込締切 3月30日(月) *消印有効

はがきには、以下の項目をご明記ください。



85円

返信面にも
●住所と●名前を
ご記入ください。

- 公演名
「春風亭一之輔 独演会」
- お客様の住所
- 氏名(フリガナ)
*フリガナを必ず振ってください。
- 電話番号
- マークル会員の方は
会員番号を明記
- 購入希望枚数
1枚か2枚かを明記
3枚以上は不可
- 高校生以下の券種や、
車椅子席およびその介添えの
補助席をご希望の場合、
その旨お書きください。

《返信用表面》

《往信用裏面》

お申し込みの流れ

3月30日(月)までに
申込フォームまたは往復はがきから申込

*消印有効 *応募者多数の場合は、抽選となります。
*座席のご希望は応じられませんのでご了承ください。

4月9日(木)に
抽選結果をお知らせする
メール送信または返信はがきの発送

*お知らせには、座席番号は明記されていません。
また、当落および座席番号の確認のお問い合わせは、
お答えできませんのでご容赦ください。

当選した場合

- 口座会員の方
4月下旬にチケットを発送いたします。
- 現金会員・一般の方
メール・はがきにチケットのお引替方法を
明記いたします。
*引換有効期限 4月19日(日)



撮影：橋 蓮二

粋な語り口、実力派

爆笑渦巻く、白酒兼好

とうげつあん はくしゅ

さんゆうてい けんこう

桃月庵白酒 三遊亭兼好 二人会

ますます冴えわたる実力派の二人が、今年も三鷹で競演です。
力みのない語り口と、癖になる毒で魅了する桃月庵白酒と、
どんな囃も鮮やかに語り、観客の心を掴んでいく三遊亭兼好。
まさに脂の乗り切った二人の高座を、どうぞお楽しみください!

6月13日(土) 昼の部 14:00 / 夜の部 18:00開演

*昼の部と夜の部が、同じ演目になるか違う演目になるかは未定です。

チケット発売日 会員4月11日(土) / 一般4月15日(水)

全席指定 託児あり *未就学児は入場できません。

各回 会員2,700円 / 一般3,000円 / 高校生以下1,000円

出演 桃月庵白酒、三遊亭兼好 ほか (お囃子) 恩田えり社中



「チケット不正転売禁止法」について

当財団主催公演のチケット(特定興行入場券)は、
主催者の同意なく、有償で譲渡することは禁止します。



笑って泣いて、寄席の華
聴かせる語りは、柳家さん喬

やなぎやさんきょう

柳家さん喬 独演会

柔らかく、そして力強い、まさに柳のごとくしなやかな語り口。
幾重にも笑いが連なる滑稽噺から、ふと涙を誘う人情噺まで、
さん喬師匠の円熟の語りを、たっぷり味わってください。

6月14日(日) 14:00開演 託児あり *未就学児は入場できません。

チケット発売日 会員4月12日(日) / 一般4月16日(木)

全席指定 会員2,700円 / 一般3,000円 / 高校生以下1,000円

撮影：山田雅子

独演会に寄せて 柳家さん喬

落語は聴く側が共通の景色を持たないで済む、映画、芝居、テレビ等の実際映像や舞台を、全員が観るものとは違い、噺を聴く事で景色も人物もおのおの違うものだと思う。しかし同じ映像や舞台を観る事で、観客は同じ感動を持てる。それが映像や舞台の良いところかもしれない。落語の魅力は、観客がそれぞれ違う画面を描き、それが演者との共同作業になり同じ様な画面を描く。違う演者の同じ噺を聞いても創り出された画面がその時々で違う。それが楽しい芸能なのかと思う！ いえ映画も芝居もみんな楽しい！

落語 柳家さん喬 仲入り 柳家さん喬 柳家喬志郎 柳家山太郎 林家十ハ 番組

お隣り 國田まゆみ 社中



勢いに満ちる、活当の良言

爆笑誘う、桂宮活

かつら みやじ

桂宮活 独演会

出演 桂宮活 ほか

もはや、その勢いは誰にも止められない！
突き抜けんばかりの爆笑の渦で、お客様の心を鷲掴み！
観客を魅了し続ける宮治師匠の落語を、
たっぷりご堪能ください！

7月5日(日) 14:00開演

チケット発売日 会員4月19日(日) / 一般4月23日(木)

全席指定 託児あり *未就学児は入場できません。

会員2,700円 / 一般3,000円 / 高校生以下1,000円

お1人様 2枚まで 同一のお客様が2枚までのご購入は可能ですが、3枚以上は購入できませんのでご了承ください。



古今亭菊之丞

古今亭文菊

同じ師匠を、仰ぎ見る

兄弟弟子の、二人会

ここへてい きくのじょう

ここへてい ぶんきく

古今亭菊之丞 古今亭文菊 二人会

2012年に亡くなった、二代目古今亭圓菊を師匠として仰ぎ見る“兄弟弟子”、古今亭菊之丞と古今亭文菊の二人会を、今年も三鷹で開催します。高座から吹き込む、兄弟弟子の競演ならではの、粋な江戸の風を感じてください。

7月4日(土) 14:00開演

チケット発売日 会員4月18日(土) / 一般4月22日(水)

全席指定 託児あり *未就学児は入場できません。

会員2,700円 / 一般3,000円 / 高校生以下1,000円

落語 柳田山わたし 柳家喬志郎 柳家山太郎 林家十ハ 番組

お隣り 森吉あき 社中

予告

次号『MARCL+ 189』

(5月発行予定)

にて発売予定の

主な落語公演

● 柳家花緑のこども寄席	7月12日(日)	未就学児の回 11:00 小学生以上の回 14:00	三鷹市芸術文化センター 星のホール
● 柳家喬太郎 みたか勉強会	8月1日(土)	14:00/18:00	三鷹市芸術文化センター 星のホール
● 立川志らく 独演会	8月22日(土)	14:00	三鷹市芸術文化センター 星のホール

三鷹市山本有三記念館 再開館のお知らせ

施設改修工事のため、昨年(2025年)5月中旬から長期休館していた三鷹市山本有三記念館は、4月25日(土)(予定)より再開館いたします。*

かつて作家の山本有三が暮らした記念館には、スクラッチタイルや大谷石によって装飾された美しい外観や、木目の壮麗な室内などが、当時の雰囲気そのままに保存されています。1階では山本有三の生涯に関する常設展、2階では会期ごとにテーマを設けた企画展を開催しています。また、土・日・祝日の13時から16時までは、ガイドボランティアから建物や展示についての解説を受けることができます。事前申し込みは不要ですので、お気軽に声をおかけください。

三鷹市の指定有形文化財として保存・活用されている大正時代の洋館の姿を、ぜひご覧ください。

*詳細は、『広報みたか』および三鷹市ホームページ等でお知らせいたします。



企画展

戯曲から小説へ —越境する有三文学を読む—

4月25日(土)～9月6日(日)

開館時間 9:30-17:00

休館日：月曜日(5/4、7/20は開館)、

5/7(木)、5/8(金)、7/21(火)、7/22(水)

主催：公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団 / 三鷹市



「風」スクラップブック



山本有三と長男(昭和2年頃)



『女人哀詞』初版本



四六書院 / 昭和6年



書「芸術はあらはれなり」

山本有三は、劇作家として、そして小説家として活躍した作家です。明治末期から大正にかけては劇作家として、大正末期から昭和にかけては小説家として活動しました。大正11(1922)年から昭和5(1930)年にかけては戯曲と小説を並行して発表しています。有三は、大正10年の随筆(「芸術は「あらわれ」なり」)のなかで、「題材そのものに、戯曲的題材だとか、小説的題材だとか、そんなきまったものはない」と述べています。その言葉を裏付けるように、同時期の作品には、「小説的」と評される戯曲「父親」(大正14年)や「女人哀詞」(昭和5年)、また、戯曲に通じる緊密な構成に

よって組み立てられた小説「兄弟」(大正11年)や「風」(昭和5～6年)といった作品があります。

本展では、戯曲と小説のそれぞれに代表作を持ち、両分野の枠組みを越境するような味わいを持つ有三文学の特性を取り上げ、作品の魅力についてご紹介いたします。日本画家・川端龍子の挿絵とともに「東京大阪朝日新聞」に掲載された「風」のスクラップブックや、書き込み入りの『女人哀詞』(四六書院 昭和6年)の初版本、有三の芸術観を表した「芸術はあらはれなり」の書(レプリカ)等の貴重な資料を展示します。どうぞお楽しみください。

第71回 おはなし会

おとぎ話に出てくるような洋館の中で、お話を聴く楽しいひと時をお過ごしください。

5月9日(土) 14:00-14:30

会場 三鷹市山本有三記念館 1階展示室A

【対象】未就学児から小学1年生程度 *申込不要、直接ご来館ください。

【参加費】無料 *未就学のお子さまは、保護者同伴でお越しください。*同伴の保護者は、入館料(300円)が必要です。

【内容】絵本の読み聞かせ、紙芝居など

【語り手】おはなしあずきの会(三鷹市立図書館を中心に活動されているボランティアの皆さま)



野田香苗(朗読)

永田斉子(リユート)

三鷹市山本有三記念館 春の朗読コンサート

風薫る5月、朗読と楽器が織りなすハーモニーをお楽しみください。

5月15日(金)・16日(土) 各回 18:00-19:30 (全2回公演)

会場 三鷹市山本有三記念館 1階展示室A

【定員】各回35人 【参加費】300円(入館料)

申込締切 4月24日(金) *往復はがきは消印有効

申込方法 往復はがきまたは入力フォームからお申し込みください。

往復はがきは、下記申込先「朗読コンサート係」宛てにお送りください。

往復はがきには、①希望する公演日、②参加者氏名(2人まで)、

③代表者の住所・電話番号、④何を見て申し込んだかを、返信はがきに宛先をご記入ください。

*申込は、いずれかの申込方法でお1人様1回限り *申込多数の場合は抽選(抽選結果は、当落にかかわらず4/30(木)までにご連絡します。)

申込フォーム▶



会場・問合せ

●三鷹市山本有三記念館 〒181-0013 三鷹市下連雀2-12-27 Tel:0422-42-6233

開館時間：9:30-17:00 休館日：月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)

入館料：300円(20名以上の団体200円) *中学生以下、障害者手帳持参の方とその介助者、校外学習の高校生以下と引率教諭は無料

*「東京・ミュージアムぐるっとパス」利用者は無料 *受付にて「年間パスポート(1,000円)」を販売しています。

太宰治作品朗読会

各回18:00開演(18:50終演予定)【定員】各回25人 参加費無料



第192回 4月17日(金)

出演 女鹿伸樹(俳優)

朗読作品 「駈込み訴へ」

淀みない太宰の口述を、美知子夫人が筆記して誕生した「駈込み訴へ」。冒頭から読者の心をつかみ、ユダの感情の起伏が十分に表現された三鷹時代の名作を、女鹿伸樹さんが朗読します。

申込締切 第192回3月30日(月) 必着 / 第193回4月27日(月) 必着 *申込は各回につき、お1人様1通のみ *申込多数の場合は抽選

申込方法 往復はがきで下記申込先「太宰治朗読会係」宛てにお送りください。往復はがきに、①ご希望の回、②参加者氏名(2人まで)、③代表者の住所・電話番号を、返信はがきに宛先をご記入ください。

会場 申込 ●太宰治文学サロン 〒181-0013 三鷹市下連雀3-16-14 グランジャルダン三鷹1階 Tel:0422-26-9150
入館無料 開館時間:10:00-17:30 休館日:月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)



第193回 5月15日(金)

出演 原 きよ(朗読家・俳優)

朗読作品 「お伽草紙」より「舌切雀」

太宰治作品の朗読をライフワークに、俳優としても活躍の幅を広げている原きよさん。今回は、戦中の太宰作品の中でも白眉と称される「お伽草紙」から、「舌切雀」を朗読します。

みたか井心亭

純和風数奇屋造りの穏やかな雰囲気のお部屋で、日本の伝統文化を季節とともに楽しみ講座をご紹介します。

井心亭でお茶を楽しむ会(夜のお茶会)

静かな夜の井心亭で、一緒にお茶を楽しみましょう。

第1回 4月15日(水) 18:30-20:00

*講師が点てるお茶を楽しむ会です。お茶を点てる体験はありません。

【定員】12人 【対象】中学生以上(茶道経験の有無は問いません。)

【参加費】1,500円/1人 【持ち物】白足袋か白い靴下



▲申込フォーム

講師 三鷹市茶道連盟

申込締切 3月28日(土) *往復はがきは消印有効

茶道体験教室

お茶の点て方など、茶道の基本的な作法を体験できる講座です。

第1回 表千家(立礼) 6月21日(日)【完全入替制】

午前の部 11:00-12:30 / 午後の部 14:30-16:00

第1回は、椅子に座りテーブルでお茶をいただく立礼です。

【定員】各部15人 *完全入替制 【対象】茶道未経験者(小学3年生以上)

【参加費】800円/1人 【持ち物】白足袋か白い靴下



▲申込フォーム

講師 三鷹市茶道連盟

申込締切 5月23日(土) *往復はがきは消印有効

申込方法 往復はがきまたは申込フォームから希望講座ごとにお申し込みください。

往復はがきは、下記申込先に希望講座名を明記しお送りください。*申込は、いずれかの申込方法でお1人様1回限り

往復はがきに、①希望講座名(「井心亭でお茶を楽しむ会」、「茶道体験教室 午前の部」または「茶道体験教室 午後の部」のいずれか)、

②参加希望人数(2人まで)、③参加者全員の氏名・年齢、④代表者の住所、⑤代表者の電話番号を、

返信はがきに宛先をご記入ください。*申込締切後、1週間程度で返信はがきもしくはメールにて抽選結果をご連絡します。

*茶道体験教室は、「午前の部」「午後の部」を同時に申し込みすることはできません。

申込・問合せ みたか井心亭 〒181-0013 三鷹市下連雀2-10-48 *JR三鷹駅南口から徒歩15分 Tel:0422-46-3922

大人のバレーボール教室

「基礎をしっかり～初心者・自信のない方編～」

「レベルアップ～中・上級者編～」

9人制実業団チームの選手が初心者から上級者まで丁寧に指導します!

4月18日(土) 9:10-11:00(9:00受付開始)

会場 SUBARU総合スポーツセンター メインアリーナ

【対象】高校生相当年齢以上の三鷹市民(在住・在勤・在学を含む)

- ①初心者・自信のない方
- ②中級～上級者・レベルアップしたい方

【定員】①20人 / ②30人 *①、②ともに申込多数の場合は抽選

【参加費】無料

【持ち物】動きやすい服装、室内用の運動シューズ、ふた付きの飲み物、タオル、外靴を入れる袋

申込方法 講座申込システム 申込締切 3月30日(月)

*①、②いずれかでお申し込みください。いずれも同時時間帯の開催です。



実業団バレーボール(男子) 9人制1部リーグ戦兼 選抜優勝大会を 観戦しよう!

東京都のトップレベルの9人制の試合をぜひ会場でご覧ください! 6人制とは違った面白さあり! 間近でみる臨場感あり!! 入退場は自由です! お好きな時間にご覧いただきください!

4月18日(土) 12:00-18:00、19日(日) 10:00-16:00

会場 SUBARU総合スポーツセンター メインアリーナ

観戦無料 *観覧席での観戦となります。室内履き、外履きを入れる袋を持参の上ご来場ください。



申込・問合せ

●SUBARU総合スポーツセンター [HP] <https://www.mitakagenki-plaza.jp/sports/>

〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ内 Tel:0422-45-1113

開館時間:9:00-22:00 休館日:毎月第4月曜日(第4月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日)

●講座申込システム <https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp> 講座申込▶



令和8年度 市民大学学習生募集!

受講料無料

市民大学では、「ともに学び、学びを生かし、学びの成果や絆が地域に受け継がれていく心豊かな社会を作る」ことを目指して、多様な分野のコースを展開し一人ひとりの学習をサポートしています。市民の企画委員との協働で企画した「総合コース」をはじめ、「一般教養コース」では、高齢者対象の『むらさき学苑』、子育て世代を対象とした講座や『市民講師養成コース』を開講します。この春、一緒に新しい学びを始めてみませんか。



総合コース

会場 生涯学習センター 各回 10:00-12:00

「総合コース」では、地域課題や社会問題の解決を目指してゼミナール形式の講義を行います。講義での学びを更に深めるため、自主学習日には講義内容の振り返りや意見交換、発表などを行い学習生が主体となって運営しています。年代やバックグラウンドもさまざまな市民が互いに学び合う、開かれた学びの場所として50年以上の歴史があります。*カリキュラムの詳細はHPをご覧ください。

金曜日コース (3コース開講) 5/15-3/5 [全30回]

【定員】各コース28人 【対象】16歳以上の三鷹市民 【保育定員】計20人

コミュニティ・教育 人が育つまちづくり

～コミュニティと教育のミライを考える～

講師 仲北浦淳基 (大正大学地域創生学部地域創生学科准教授) ほか



哲学 暮らしの中の哲学 ～いつから「私」を意識したのだろう～ (仮)

講師 調整中

経済 日本経済の停滞と成長の条件

～岐路に立つ財政と経済の再生を学ぶ～

講師 佐藤主光 (一橋大学経済学研究所教授) ほか



土曜日コース (2コース開講) 5/16-3/6 [全30回]

【定員】各コース28人 【対象】16歳以上の三鷹市民 【保育定員】計10人

アート アート ～楽しむ、つながる、変わる～

講師 長谷川祐子 (キュレーター / 京都大学経営管理大学院客員教授) ほか



科学 未来を拓く科学 ～AIと人と持続可能な社会へ～

講師 室山哲也 (日本科学技術ジャーナリスト会議会長) ほか



申込期間 3月25日(水)～4月13日(月) *最終日は17:00まで

申込方法 生涯学習センター窓口・電話(9:00-21:00)または講座申込システム

一般教養コース

むらさき学苑

講師 茂木 貴 (国際情勢アナリスト) ほか

5/12-3/9 [火曜日 / 全30回]

各回 10:00-12:00 会場 生涯学習センターホール

【定員】126人 【対象】60歳以上の三鷹市民



講座の様子(茂木先生)

シニア層の皆さんが教養を高め、生きがいある豊かな生活を築いていくことを目的とした講座です。毎回多彩な講師による講義が行われ、年1～2回の社会見学では外部施設にも出掛けます。

申込期間 3月25日(水)～4月13日(月) *最終日は17:00まで

申込方法 生涯学習センター窓口・電話(9:00-21:00)または講座申込システム

自分のための子育て講座

講師 帆足 暁子 (一般社団法人親と子どもの臨床支援センター代表理事)

6/9-7/7 [火曜日 / 全5回] 各回 10:00-12:00

会場 生涯学習センター 学習室1

【定員】25人 【保育定員】20人

【対象】16歳以上の三鷹市民



講座の様子



帆足 暁子

乳幼児～小学校低学年のお子さんのご家族を対象に、子どもの心理やその対応について、事例を交えながら学びます。子育てを通して、自分の生き方や、人生をより楽しむためのヒントを探してみませんか?

申込期間 3月25日(水)～5月6日(水・休) *最終日は17:00まで

申込方法 生涯学習センター窓口(9:00-21:00)または講座申込システム

注意事項

- ・対象は三鷹市民(在勤・在学を含む)・定員を超えた場合は抽選となります。当選者のみ、はがきでご連絡いたします。
 - ・受講料は無料ですが、材料費等は自己負担となります。
 - ・同じ日時に開催する講座を重複して申し込むことはできません。
 - ・むらさき学苑は、三鷹市が募集する「東むらさき学苑」「西むらさき学苑」と重複して申し込むことはできません。
 - ・保育は満1歳からの未就学児対象。保育説明会(子ども同伴)の参加必須
- 【保育説明会実施日(10:00-12:00)】総合コース 金曜日・土曜日:5/8(金)、子育て講座(一般教養コース):6/2(火)

*各コースの日程や内容の詳細、最新の情報は、講座申込システムまたは財団HPをご覧ください。

申込・問合せ

- 三鷹市生涯学習センター [HP] <https://www.mitakagenki-plaza.jp/shogai/>
〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ4階 Tel:04-22-49-2521
開館時間 9:00-22:00 休館日:毎月第4曜日(第4月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日)
- 講座申込システム <https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp> 講座申込▶





講座の様子

三鷹中央防災公園 花壇サポーター養成講座

花壇サポーターとして、三鷹中央防災公園の東広場にある市民花壇の企画や管理をしてみませんか。養成講座では植栽プランニングや植え付けの基礎から学ぶことができ、実践として市民花壇のメンテナンスを行います。花と緑がお好きな方のご参加をお待ちしております。

4月23日～2027年3月25日【木曜日/全12回】

*花壇サポーターの任期は2年間(今回募集する方は2028年3月まで)
*天候等により日程は変更になる場合があります。
*7月～9月の期間中の水やり作業を、お一人につき3回程度交替で行っています。

①4/23、②5/28、③6/11、④6/25、⑤7/23、⑥9/24、
⑦10/22、⑧11/26、⑨12/10、⑩12/24、⑪2/25、⑫3/25

各回13:00～16:00

*花壇メンテナンスのみの日は15:00まで *7/23のみ9:30～11:30

受講料無料

会場 生涯学習センター 学習室3 ほか、
三鷹中央防災公園東広場 市民花壇

講師 安藤美奈子(2級造園施工管理技士、IHT正園芸療法士)

【定員】9人程度

【対象】16歳以上の方 *申込多数の場合は抽選、三鷹市民(在勤・在学を含む)優先

申込締切 4月7日(火) 必着 **申込方法** 講座申込システムまたは往復はがき



★12月のクリスマス・プチ講座では、ミニクリスマスツリーを作りました。毎年、受講生に人気です!



★有志メンバーで生涯学習センターフェスティバルに昨年参加し、押し花の手提げ袋のワークショップを開催しました。多くの来場者の方にご参加いただき、盛況でした!

往復はがき申込

往復はがき申込

返信用表面に住所、氏名、往信用裏面に、講座名、氏名(フリガナ)、年齢、郵便番号、住所、電話番号、この講座を何で知ったかを記載 *詳細はHPをご覧ください。

申込・問合せ

●三鷹市生涯学習センター [HP] <https://www.mitakagenki-plaza.jp/shogai/>
〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ4階 Tel: 0422-49-2521

開館時間 9:00～22:00 休館日: 毎月第4月曜日(第4月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日)

●講座申込システム <https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp>

講座申込▶



市民大学事業 市民講師養成コース

市民講師としての 話し方やコミュニケーションを学ぶ

ご自身の知識や技能を地域社会に生かし、役立てたいとお考えの皆さん、市民講師*として活躍しませんか。市民講師として必要とされるスキル「伝わる話し方とコミュニケーション」や「講座の計画の立て方」についても学べる実践的なカリキュラムです。

*ご自身の知識や技能を生かし、生涯学習の推進役として地域にかかわる方を「市民講師(ボランティア講師)」として支援します。本講座修了後は実践として「市民講師デビュー講座」(選考あり)の開催に向けたサポートも行います。



牛窪万里子



石井麻由子

5月26日～6月30日【火曜日/全6回】 **受講料無料**

各回14:00～16:00 **会場** 生涯学習センター 学習室1

①5/26 講座を作るポイント1、②6/2 講座を作るポイント2、③6/9 受講生の心をつかむ話し方、
④6/16 話の構成の立て方、⑤6/23 キーワードの伝え方、⑥6/30 録画による実践とフィードバック

講師 牛窪万里子(元NHKアナウンサー、株式会社メディアアンプロモーション代表取締役)

石井麻由子(元NHKアナウンサー)

【定員】12人 *申込多数の場合は抽選、市民講師として活動を希望する方を優先 【対象】16歳以上の三鷹市民(在勤・在学を含む)

申込期間 3月25日(水)～4月30日(木) 必着

申込方法 講座申込システム *市民講師として活動したいことがある方は具体的に明記してください。

修了生の
アンケートより

- ・この講座を受けて人前で話すことのポイントが学べました。自分の伝えたい事の難しさ・キーポイントのつかみ方が学べました。お二人の講師の方の指導は大変わかりやすく有意義でした。
- ・最初はとても緊張しましたが受講させていただき大変勉強になりました。
- ・平日、曜日と時間が固定されていたため、仕事を休んで参加がしやすかったです。講座も長すぎず、集中して受けられました。他の人と交流をもっとしたかったです。緊張がほぐれて話せるようになってきたタイミングで講座終了になり少し残念ですがとてもよい機会でした。楽しかったです!!

元気創造プラザ連携講座

未来の自分へ投資! ～今すぐ始める高血圧予防のコツ～

高血圧はサイレントキラーと呼ばれ、自覚症状がないまま進行し、命にかかわる重大な病気を引き起こす原因になります。自分は大丈夫と思っていても、若いころからの日々の生活習慣が将来の血圧に大きな影響を及ぼします。生活習慣を見直し、血圧管理の第一歩を踏み出してみてはいかがでしょうか。



講師
鈴木 豪
(医療法人社団ゆみの
ゆみのハートクリニック三鷹院長)

6月7日(日) 10:00～11:30 **会場** 生涯学習センター ホール **受講料無料**

【定員】40人 *先着順 【対象】三鷹市民(在勤・在学を含む)

申込期間 4月6日(月) 9:00～6月5日(金) 17:00

申込方法 申込フォームまたは三鷹市健康推進課(0422-24-8207)へ電話(9:00～17:00 土日祝日を除く)

協力・問合せ 三鷹市健康推進課



▲申込フォーム

三鷹市芸術文化センター 風のホール

ジャン・ロンドー チェンバロ・リサイタル
3月28日(土) 14:00 開演 [完売]

みたかジュニア・オーケストラ 第26回演奏会
3月29日(日) 14:00 開演 [チケット発売中]

川口成彦 フォルテピアノ・リサイタル
5月10日(日) 14:00 開演 [チケット発売中] [託児あり]

New! 風のホールでピアノを弾こう!
スタインウェイ編 (三鷹市民限定)
5月20日(水)・21日(木) [申込締切日] 4月5日(日)

TRES
6月21日(日) 14:00 開演 [チケット発売中] [託児あり]

New! ドリーマーズ・サーカス
9月5日(土) 16:00 開演 [託児あり]
[チケット発売日] 会員4月3日(金)/一般4月7日(火)

New! パオロ・バンドルフォ & アメリ・シュマン
「天上の歓び」
ヴィオラ・ダ・ガンバ200年の黄金の歴史
～イギリス、フランス、ドイツ音楽史紀行～
9月12日(土) 14:00 開演 [託児あり]
[チケット発売日] 会員4月3日(金)/一般4月7日(火)

三鷹市芸術文化センター 星のホール

柳家花緑 独演会 [完売]
3月14日(土) 14:00/18:00 開演

柳家権太楼 独演会 [完売]
3月15日(日) 14:00 開演

瀧川鯉昇 独演会 [完売]
3月20日(金・祝) 14:00 開演

CINEMA SPECIAL
生きがいととも、人生は続く。
～歳を重ね、それぞれに輝く、映画特集～
午前の部 11:00/ 午後の部 14:00 上映開始
3月21日(土) 『土を喰らう十二月』 [完売]

柳亭市馬 独演会 [完売]
4月5日(日) 14:00 開演

iaku『肅々と運針』
4月9日(木)～19日(日) 全14公演

Table with 19 columns (days) and 4 rows (times: 13:00, 14:00, 18:00, 19:30). Includes performance status and childcare service icons.

New! CINEMA SPECIAL
生誕百年記念 今村昌平監督作品特集
午前の部 11:00/ 午後の部 14:00 上映開始

P11-12 5月23日(土) 『楢山節考』 [託児あり]
[チケット発売日] 会員3月19日(木)/一般3月20日(金)

New! ばぶりか
『どっか行け! クソたいぎい我が人生』
5月30日(土)～6月7日(日) 全11公演

Table with 7 columns (days) and 4 rows (times: 14:00, 18:00, 19:30). Includes performance status and childcare service icons.

New! 桃月庵白酒 三遊亭兼好 二人会
6月13日(土) 14:00/18:00 開演 [託児あり]
[チケット発売日] 会員4月11日(土)/一般4月15日(水)

New! 柳家さん喬 独演会
6月14日(日) 14:00 開演 [託児あり]
[チケット発売日] 会員4月12日(日)/一般4月16日(木)

New! 古今亭菊之丞 古今亭文菊 二人会
7月4日(土) 14:00 開演 [託児あり]
[チケット発売日] 会員4月18日(土)/一般4月22日(水)

New! 桂宮治 独演会 [お1人様 2枚まで]
7月5日(日) 14:00 開演 [託児あり]
[チケット発売日] 会員4月19日(日)/一般4月23日(木)

三鷹市公会堂 光のホール

神田伯山 独演会 [完売]
3月28日(土) 14:00 開演

東西狂言の会 [完売]
4月4日(土) 14:00 開演

New! 春風亭一之輔 独演会 [お1人様 2枚まで]
5月17日(日) 14:00 開演 [託児あり]
[申込締切日] 3月30日(月)

三鷹市美術ギャラリー

太宰治展示室 三鷹の此の小さい家
企画展示 「三鷹綺譚」 最後の人一師・太宰治
5月17日(日) まで 10:00-18:00

みたか井心亭

New! 井心亭でお茶を楽しむ会 (夜のお茶会)
第1回 4月15日(水) 18:30-20:00
[申込締切日] 3月28日(土)

New! 茶道体験教室
第1回 表千家(立礼) 6月21日(日) 11:00/14:30
[申込締切日] 5月23日(土)

三鷹市山本有三記念館

New! 企画展
戯曲から小説へ
～越境する有三文学を読む～
4月25日(土)～9月6日(日) 9:30-17:00

New! 第71回 おはなし会
5月9日(土) 14:00-14:30

New! 春の朗読コンサート
5月15日(金)・16日(土) 各回 18:00-19:30
[申込締切日] 4月24日(金)

太宰治文学サロン

P19 太宰治作品朗読会
New! 第192回 4月17日(金) 18:00-18:50
[申込締切日] 3月30日(月)

New! 第193回 5月15日(金) 18:00-18:50
[申込締切日] 4月27日(月)

三鷹市吉村昭書斎

企画展示
旭日中緞章受章・芥川賞受賞60年記念
津村節子の歩む道～夫・吉村昭とともに～
7月20日(月・祝) まで 10:00-17:30

SUBARU 総合スポーツセンター

New! 大人のバレーボール教室
4月18日(土) 9:10-11:00 (9:00受付開始)
[申込締切日] 3月30日(月)

New! 実業団バレーボール(男子)
9人制1部リーグ戦
兼選抜優勝大会を観戦しよう!
4月18日(土) 12:00-18:00
4月19日(日) 10:00-16:00

三鷹市生涯学習センター

New! 令和8年度 三鷹市民大学学習生募集!
[申込期間]
●総合コース・むらさき学苑 (一般教養コース)
3月25日(水)～4月13日(月) *最終日は17:00まで
●子育て講座 (一般教養コース)
3月25日(水)～5月6日(水・休) *最終日は17:00まで

New! 三鷹中央防災公園
花壇サボーター養成講座
4月23日(木)～2027年3月25日(木)
[全12回] 各回 13:00-16:00
[申込締切日] 4月7日(火)

New! 市民大学事業 市民講師養成コース
市民講師としての
話し方やコミュニケーションを学ぶ
5月26日(火)～6月30日(火)
[全6回] 各回 14:00-16:00
[申込期間] 3月25日(水)～4月30日(木)

New! 元氣創造プラザ連携講座
未来の自分へ投資!
～今すぐ始める高血圧予防のコツ～
6月7日(日) 10:00-11:30
[申込期間] 4月6日(月) 9:00～6月5日(金) 17:00

託児あり 公演事業では、特に表示のない場合、未就学児のご入場をお断りしています。このマークがついている公演には託児サービスがあります。
料金:500円 定員:10人 対象:1歳～未就学児 申込期限:各公演の2週間前まで 申込フォーム▶
申込方法:電話(株式会社 明日香 0120-165-115)または申込フォームでお申込みください。(先着順)

*チケット購入枚数に、制限のある公演があります。 *U・23利用の中学生以上の方、O・70利用の方は、公演当日に身分証明書をご持参ください。
*学生券をお求めの方は公演当日に学生証をご持参ください。 *公演内容等は変更になる場合もあります。 *公演中止の場合を除き一度購入されたチケットの払い戻し・交換はできません。
*営利を目的としたチケットの転売は固くお断りいたします。 *情報誌の作成中にチケットが完売となる場合がありますので、ご了承ください。 *申込を締め切った事業は掲載していません。
*風のホール2階席へのエレベーターはありませんので、階段をご利用ください。 *次号のMARCL*189は5月発行予定です。